

# 改革開放期の中国における「道德教育」

## —東南部の学校教育と家庭教育を中心に—

鄭 菁 菁

### はじめに

古来中国の道德観の根幹をなすのは儒教・道教・仏教の三教の教えである。しかし、中国は封建社会から社会主義社会へと変わり、社会全体が急激な変化を経験してきた。1970年代後半から始まった改革開放政策<sup>1</sup>のもとで経済発展を遂げ、人々の考え方や価値観にも大きな変化がもたらされた。それによって、学校・家庭における道德教育も変化しつつある。

本論文で議論される「道德教育」は、中国の学校の教育現場における道德教育（德育<sup>2</sup>）および家庭におけるしつけ・家庭教育である。

現在中国の学校教育では「道德教育」が非常に重要となっているが、教科としての「道德教育」の中身は、古くから大事にされてきた伝統的な道德観や宗教的な教えとはかけ離れており、ナショナリズム、共産主義のイデオロギーやスローガンなどの「政治的」なものが中心となっている。その背景には、教育を通して思想の改革を図り、人々を封建社会から「解放」し、共産主義の新中国を確立しようとする共産党政府の意図がある。文化大革命に代表される政治運動によって、中国の伝統文化は共産党の標的とされ、とくに儒教、仏教、道教の三教は中国史上初めて徹底的に否定されることになったのである。

文化大革命の終焉から今日までの40年間、人々の道德意識・考え方、道德教育にも変化が起きているが、それはどのような変化

なのだろうか。また、これらは職業によって違いがあるのだろうか。こうした問題意識をもとに先行研究を調べてみたが、中華民国時代から現代までの変容を分析したものはほとんどなく、また、中国の家庭教育について歴史的な変容を取り上げたものも乏しい。

そのため本論では、現代中国の学校教育については1977年以降の文献資料を通じて、また家庭教育については2016年に行った福建省沿海の莆田市でのアンケートや聞き取り調査を通じて、改革開放期の中国の「道德教育」について考察し、その連続と変化を述べたい。

### I 改革開放期の学校教育における「道德教育」

文化大革命が終わった翌年の1977年3月、中国政府は社会を落ち着かせるために「政治」という道德科目を中学校と高校で再開した。その後小学校では「思想品德」という科目が開設された。さらに、21世紀に入って、小学校の道德教育課程が「思想品德」から「品德と生活」・「品德と社会」(2001年)に変わり、中学校の道德教育課程が「思想政治」から「思想品德」(2003年)に変更され、道德教育の内容も変わってきた。本章では、改革開放時代が始まって以降の小中高における道德教育について述べる。

#### 1) 小学校の「道德教育」

1993年3月26日、「小学校德育綱要」が中国国家教育委員会から発布され、「国を

愛し、労働を愛し、社会主義を愛する情感を育成すること、自覚的に社会公德、文明行為習慣を遵守すること、善悪を判別する能力を育成すること、学生を〈徳・知・体〉全面にわたって発達させた社会主義の建設者・後継者にするために、良好な思想品格の基礎をかためること」〔檀 2000：23〕が示された。道德教育におけるこうした基本理念は、建国以来変わっていないと言ってよいと考えられる。1994年8月23日に「愛国主義教育実施綱要」が決まり、「小学校において愛国主義教育がいっそう重視され、毎週月曜日の朝、授業が始まる前に、学校の校庭で国旗の掲揚式を行い、国歌を斉唱し国を愛する感情を育成するということを目指す」〔倪 2007：116〕ようになった。「愛国」という名の下でのナショナリズム教育は時代とともに強化され、昨今尖閣島問題や歴史問題をめぐる反日デモに多くの若者が参加したのには、こうした教育の影響も大きいといえよう。

道德教育を含めて詰め込み式であった教育の内容を改善するため、1999年1月に国務院が公布した「21世紀に向けての教育振興計画」において、「資質教育」が提起された。「〈資質教育〉という教育改革の中で、学生の個性や主体性を重視するようにしていくという観点から、拘束力の強い〈教学大綱〉から弾力性ある手引きとしての〈課程標準〉への移行が図られた」〔倪 2007：116〕。

2002年5月28日には「義務教育品德と生活課程標準」（以下「品德と生活」）と「義務教育品德と社会課程標準」（以下「品德と社会」）という二つの「課程標準」が示された。「品德と生活」は、小学校の1～2学年の低学年の生徒の生活を基礎とし、良好な品德（品性と道徳）・行為を習慣にするための活動型総合課程である。一方、「品德と社会」は、小学校の3～6学年の中・高学年の生徒の良好な品德形成と社会性の発達を促すための総合課程である〔倪

2007：126〕。

## 2) 中学・高校の「道德教育」

1995年2月27日に発布された「中学德育大綱」<sup>3</sup>において、中学校と高校における德育の包括的な目標は、「学生が社会主義祖国を愛し、社会公德と文明的行為・習慣をもち、法律・法規を守ることができる公民になるよう、学的人生観・世界観を樹立させ、社会主義的思想・覚悟を向上させるべき」〔檀 2000：243〕となっている。中学校と高校にそれぞれ8カ条の德育の内容が設定されており、その内容において、「道德教育」と「良好な心理・品格」は別個に扱われている。

改革開放の時代が始まって以降の中国では、拝金主義、享楽主義、個人主義の影響を受け、腐敗堕落、権力を用いて私益を求めることが社会問題となっている。習近平国家主席が蔓延している政治家や社会の腐敗をなくす意思表示をした言葉として、「虎もハエも叩く」と言ったのは記憶に新しい。社会悪と社会問題を解決するためには教育を強化すべく、2003年5月19日に、中国教育部は「全日制義務教育思想品德課程標準」を発表した。それによって、中学校における道德科目の名称は、「思想政治」から「思想品德」に変わった。

その「課程標準」の中でとくに注目すべきものは「私と他人との関係」という部分で、「親孝行、思いやり、誠実、尊重、寛容、楽しんで他人を助けるなどの品德を設け、学生の日常生活と結びつけ、日常生活で学生が自覚的に道德行動をなすことをめざしている」〔倪 2007：118〕。ようやく、本来の道德教育に目が向けられるようになり、こうした変化のためか、「思想品德」教育の一部は中国の伝統的価値観や道德観<sup>4</sup>とのつながりを持たせるものもある。

以上で述べたように、現在の中国における中学校と高等学校の道德教育は、政治を重視するとともに、伝統的価値観への回帰

の傾向が若干見いだされる。次章では、家庭内で道德教育やしつけがどのように行われているのかを、アンケート調査をもとに考察したい。

## Ⅱ 「一人っ子」時代の家庭教育

この章では、福建省の人々のしつけについてのアンケート調査を通じて家庭教育の実態を考察する。中国東南部の地方都市（莆田市仙遊県）に住む漢民族のしつけの状況を知るとともに、そのしつけの方法や考え方に中国の伝統的な道德観がどのように反映されているのかを明らかにしたい。

### 1) 調査地の概況

調査地の莆田市は福建省沿海側の中部に位置している、人口約277万人の地方都市である。この地域には注目すべき二つの大きな特徴がある。まず、莆田市は媽祖（もとは航海安全の女神）信仰の発祥地である。媽祖は現在も閩南地域では商売繁盛や家内安全の神として、中国東南沿海部を中心に信仰を集める道教の女神である。媽祖は道教系の神明とされるが、儒教の倫理道德を尽くした神ともとれる。媽祖を誉めたたえた『天上聖母經』という小冊子では、

「媽祖は、聖徳が高く、忠孝の両方とも完全で比肩するものがない。古聖人の道を伝え、先祖の仁慈を学ぶ。人の苦難を救済し、国や民を愛する。最高の節操・貞操をもつ。媽祖は道德的にも完璧である」[聶 1998：637]

とされる。

また、莆田市は商売の都市としても有名である。莆田人は唐の時代から航海し、各地で商売を始めた。現在世界で活躍している莆田出身の商人は200万人を数え、中国大陸以外の地域に150万人ぐらいいる[劉 2014：3]とされる。改革開放以降宗族の復興により、親族の間で協力し合った結果、それぞれの組織はますます強大になり、

現在中国の金、建材、陶器、木彫り、伝統家具等の産業を莆田商人が独占している[劉 2014：4]とさえいわれている。彼らのやや強引なビジネス手法は有名であり、中国では「中国のユダヤ人」と呼ばれている。こうしたことから、家庭教育における莆田市の商人の子供のしつけ方に何らかの特徴があると考え、本論ではほかの職業と比較して考察してみることにした。

### 2) 調査対象と質問内容

調査の対象は「仙遊県私立小学校」4年生（10歳）の保護者たちである。2016年2月26日（金）に4年生の1組と2組の担任の先生に頼み、85<sup>5</sup>名の児童にアンケート質問紙を配り、宿題として持ち帰ってそれぞれの保護者に答えてもらい、2016年2月28日（月）に回収した。

アンケートは、保護者の年齢、職業、学歴、児童との続柄、兄弟の有無の5つの基本情報を含めた34項目である（添付資料参照）。質問内容は「誠実・善良・寛大・忍耐力・礼儀・知識」という6つのキーワードを軸に、保護者たちのしつけや道德観を問うものが中心となっている。

### 3) 結果と分析

配布した質問紙85部のうち81部を回収でき、回収率は95.3%である。アンケートの結果は以下の通りである。なお、保護者の年齢層は30歳代がもっとも多く、40歳代と合わせると全体の93.8%弱を占めている。

#### ●保護者の職業

保護者の職業には専業主婦、職人、公務員、商人、非正規雇用、学生、会社員、尼僧がある。その分布状況は表1の通りであるが、商人がもっとも多く、商人、専業主婦、非正規雇用の3つで全体の72.9%を占めている。

表1 保護者の職業

	専業主婦	職人	公務員	商人	非正規雇用	学生	会社員	尼僧	不明	計
実数(人)	19	6	7	22	18	1	3	1	4	81
割合(%)	23.5	7.4	8.6	27.2	22.2	1.2	3.7	1.2	4.9	100

## ●保護者の学歴

表2 保護者の学歴

	大学院以上	大学	短期大学	高校や専門学校	中学校	小学校以下	不明	計
実数(人)	2	6	9	21	26	13	4	81
割合(%)	2.5	7.4	11.1	25.9	32.1	16.0	4.9	100

表3 調査対象の男女別学歴

	大学院以上	大学	短期大学	高校や専門学校	中学校	小学校以下	不明	計
男性の実数(人)	2	4	4	8	6	2	2	28
男性の割合(%)	7.1	14.3	14.3	28.6	21.4	7.1	7.1	100
女性の実数(人)	0	2	5	13	20	11	0	51
女性の割合(%)	0	3.9	9.6	25.0	40.3	21.2	0	100
不明	0	0	0	0	0	0	2	2

表2によると、保護者の学歴は多い順に中学校卒(32.1%)、高校や専門学校卒(25.9%)、小学校卒(16.0%)、短期大学卒(11.1%)、大学卒(7.4%)、大学院(2.5%)である。調査対象の半数近くが中卒・小卒で男女ともに学歴が低いといえるが、表3によると、とくに女性の中卒と小卒を合わせた割合は61.5%に達し、これは男性の28.5%弱の2倍強である。

『2010年人口普查』(2010年国勢調査)によると、福建省の非識字率(15歳以上の人々のデータ、以下同じ)は2.44%で全国平均の4.08%より低く、識字率は全国の各省直轄市自治区の中で第9位を占めている。福建省の大学卒は8.36%、高校卒は13.80%、中学校卒37.89%である。大卒は全国平均の8.9%、高卒と中卒は全国平均の14.03%および38.79%よりやや低い。さらに小学校卒は29.8%と全国平均の26.78%より高い。福建省の教育水準は、国内31省直轄市自治区のうち第18位と

なっている[中華人民共和国国家統計局]。これらのデータから、福建省の人々の識字率は全国平均より高いが、約3人に1人が小学校卒で、この地域の人々の学歴は高いとはいえない。今回のアンケート調査の回答者の学歴は、高卒・専門学校卒が26%と福建省の平均より高く、中卒および小卒は平均より低い。

また、全国男女別の非識字率(2010)は、男性が2.52%、女性が7.29%となっており、女性が男性より2倍以上高い[中華人民共和国国家統計局]。それは今回のアンケート調査の結果にも当てはまるといえよう。つまり、この地域を含めて中国では教育における男女格差がいまだ存在しているのである。

## ●子供の教育において重視する点

質問紙では、子供の教育において重視するものを5つ選んでもらった。その結果は以下の通りである。回答者の中には5つ以上選んでいる人もいるが、集計は回

答者が選んだものをそのまま数えて実数にしている。それはそれで回答者の答え

の傾向を反映しているものと考えたからである。

表4 子供の教育において重視する点（全員）

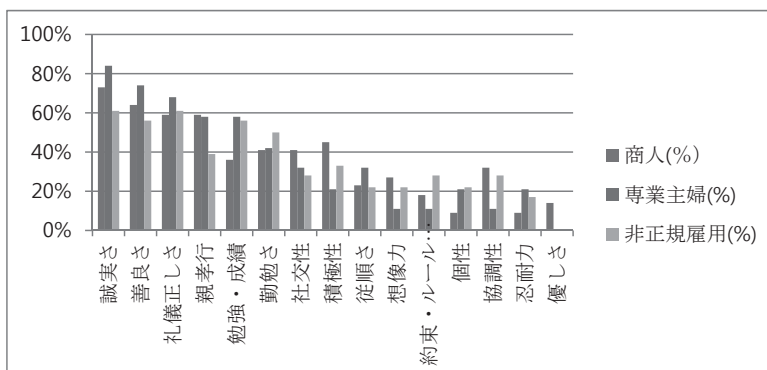
	実数（人）	割合（％）（実数／81）
誠実さ	62	76.5
善良さ	52	64.2
礼儀正しさ	50	61.7
親孝行	42	51.9
勉強・成績	40	49.4
勤勉さ	36	44.4
社交性	26	32.1
積極性	25	30.9
従順さ	18	22.2
想像力	17	21.0
約束・ルールを守る	17	21.0
個性	15	18.5
協調性	15	18.5
忍耐力	11	13.6
優しさ	5	6.2

表4によると、調査対象者が子供をしつける際に重視しているのは誠実さ（76.5%）、善良さ（64.2%）、礼儀正しさ（61.7%）、親孝行（51.9%）、勉強・成績（49.4%）の順になっている。全体的に中国の伝統的な教えや価値観が重視されているようである。また、図1のようにアンケート回答者のなかでもっとも多かった3つの職業の回答をみると、職業によって重視する項目に顕著

な差がみられるものもあった。

この図のように、商人は「積極性、協調性」を専業主婦よりもはるかに重要視しており、一方専業主婦は「勉強・成績」を商人よりもはるかに重要視している他、「忍耐力」「個性」なども商人に比べると重要視する比率が高い。「親孝行」と「勤勉さ」に関しては、商人と専業主婦とでほとんど差がみられない。

図1 商人、専業主婦、非正規雇用が重視する項目の比較



商人および日雇いやパート勤務の非正規雇用者が重要視する項目について、商人は「親孝行」を非正規雇用よりも重要視しており、一方非正規雇用は商人よりも「勉強・成績」や「個性」をより重要視している。商人の場合、「勉強・成績」「個性」「忍耐力」を重視する人がほかの職業に比べてかなり少なく、また「積極性」「想像力」「社交性」を選んだ人の割合が高いのは職業上の特性を表わしているものと考えられる。「従順さ」と「礼儀正しさ」に関してはほとんど差がないといえよう。

一般に商売は忍耐力の要る職業と思われるがちだが、アンケートの回答では商人たちは子供に我慢させることは考えていないようである。一般的に「忍耐力」「約束・ルールを守る」を重視する割合が低いが、こうしたことが、現在中国人の多くが国内や海外の旅行先などであまりマナーやルールを守らないとたびたび指摘を受けている背景なのかもしれない。

今回の調査では、「優しさ」を重視するという回答の割合が極端に低いが、中国語では日本語の「優しい」という意味にぴったり当てはまる言葉がない。日本語の「優しい」の辞書的意味には「おとなしい」「思いやりがある」「物事を愛する心」などが含まれているが、それを中国語に訳すと「溫柔体贴」（おとなしく思いやりがある）となり、「物事を愛する心」の意味が抜けてしまう。「物事を愛する心」という意味は中国語では「善良」という言葉に含まれていて、これは儒教でいう「仁」に当たる。中国語の「溫柔体贴」は男性には使わず、ほとんど女性に対して使われる語彙である。現在の中国社会では女性に対してもとくに「溫柔体贴」が求められているわけではない。そういう意味で、今回の調査結果において「優しさ」の割合が低いことと「善良」の割合が高いこととは、とくに矛盾したことでないといえよう。

以下、紙面の関係上、アンケートの他の項目からいくつか選んで、その結果を整理しておきたい。

Q7「あなたの子供は本音を話してくれますか」

- ①話さない (9.8%)
- ②時々話す (65.6%)
- ③きくと話してくれる (24.5%)

Q8「10元しか必要がないのに、子供が20元必要だということはありませんか」

- ①よくある (2.6%)
- ②時々ある (23.4%)
- ③ない (74%)

Q16「あなたは子供と一緒につくったルールを守りますか」

- ①必ず守る (48%)
- ②時々守る (45%)
- ③守らない (7%)

Q17「あなたが子供に悪いことをしてしまった時、子供に謝りますか」

- ①必ず謝る (70%)
- ②時々謝る (30%)
- ③謝らない (0%)

Q18「あなたは子供が過ちを起こしたとき、どのように対応しますか」

- ①許す (22.3%)
- ②叱る (22.3%)
- ③状況によって許すこともある (55.4%)

Q20「子供がものを買ってほしいとねだる時に、あなたはどのように対応しますか」

- ①買ってあげる (5%)
- ②買ってあげない (11.3%)
- ③ものや状況によって買ってあげる (83.7%)

Q21「あなたは子供の体を鍛えるためになにかの訓練をさせたことがありますか（たとえばランニングなど）」

- ①ある (30%)
- ②ない (70%)

Q22「あなたの子供が30分宿題をして疲れたと言ったら、休憩させますか」

- ①全部終わってから休憩させる (11.3%)
- ②必ず休憩させる (56.7%)
- ③状況による (32%)

Q28「家の外でもゴミをゴミ箱に捨てるよう、子供にいますか」

- ①必ず言う (80%)
- ②時々言う (13.5%)
- ③ほとんど言わない (6.5%)

Q30「あなたは数学や国語以外の授業も大事だと思いますか」

- ①思う (85%)
- ②思わない (3.9%)
- ③わからない (11.1%)

Q31「あなたは子供が古典を学ぶことが大事だと思いますか。(たとえば、『三字経』『唐詩』など)」

- ①思う (87.6%)
- ②思わない (3.9%)
- ③わからない (8.5%)

Q32「あなたは子供に音楽を聴かせたり教科書以外の本を読ませるなど、子供の可能性を広げるようなことをしていますか」

- ①している (80.2%)
- ②していない (5%)
- ③時々する (14.8%)

Q33「あなたは子供の成績についてどのように考えていますか」

- ①よい成績をとるのが何より重要である (8.6%)
- ②成績が極端に悪くなければよい (11.1%)
- ③成績も重要だが、他の活動をする必要もある (80.3%)

Q34「あなたは子供を塾に通わせたり、習い事をさせたりしていますか」

- ①通わせている (30.8%)
- ②通わせていない (20.9%)
- ③今は通わせていないが、子供が望めば通わせたい (48.3%)

以上のアンケートの回答を踏まえて、その分析結果を整理してみたい。

①調査対象者が子供をしつける際、「誠実さ」「善良さ」「礼義正しさ」「親孝行<sup>6</sup>」を50%を超える人が重視している。中国の伝統的な教えや価値観が重視されているようである。

②商人の場合は専業主婦や非正規雇用者に比べると「勉強・成績」「個性」「忍耐力」よりも「積極性」「社交性」の面をより重視している。

③「誠実さ」に比べ、「約束・ルールを守る」はあまり重視されていない。

④「優しさ」の割合がかなり低い。それは中国語に訳すと「溫柔体贴」(おとなしく思いやりがある)となり、この語は男性には使わず、ほとんど女性に対して使われ、現在の中国社会では女性に対しても特に「溫柔体贴」が求められているわけではないからである。

⑤保護者に本音をいつもいう子供は少ないと親は思っている。子供が間違ったことをした場合、状況によっては子供の過ちを許すという回答が最も多かった。保護者は子供とした約束は守る者が多く、また子に悪いことをした場合にはほとんどが子供に謝るようである。

⑥子供のしつけ面ではわがままさせず、注意しているようであるが、子供の勉強を何よりも重視していて、「注意しない」という回答もあった。豊かな時代であり、他人に迷惑になる行為については子供に我慢させるが、物欲や身体的苦労はあまり我慢させない。

⑦子供に公共の場所でのルールを大事にしつける姿勢が見られる。しかし「ほとんと言わない」と答えた保護者も存在し、公共の場所でのルールについて無関心な面を示している。

⑧国語、数学の主要科目以外の科目も大事だと思っているが、「思わない」と答えた者もいる。莆田市の親たちは、古典を重視

しており、教科書以外の知識、子供の成績、さまざまな活動に参加することなどを大事だと思う人が多い。

アンケート調査の結果からは伝統的な教えや価値観が変わったところも見いだされた。それは、儒教の思想の中で「誠実さ」「善良さ」「礼義正しさ」「親孝行」などと同じように重要とされる「忍耐力」と「約束・ルールを守る」の大事さが変わったことである。「忍耐力」がそれほど重視されていない原因は、豊かな時代になり、子どもにあまり我慢させなくなったからである。「約束・ルールを守る」に関しては次章で再考したい。

### Ⅲ 中国の道德教育における連続と変化

建国以来中国の学校教育では「道德教育」が非常に重要な科目となっており、現在小学生から大学院生まで道德についての教育を受けている。ここでは第Ⅰ章と第Ⅱ章で述べた内容に基づき、中華民国時代以降の学校教育および家庭教育において、「道德教育」の何が変わり、何が変わっていないのかを考察することによって、中国の道德意識および道德教育における連続と変化について見ていきたい。

#### 1) 学校教育における「道德教育（德育）」の連続と変化

建国以来中国では道德教育と政治は不可分の関係にあり、共産党政府は道德教育と政治教育の一体化こそが必要かつ重要だという基本姿勢を貫いている。道德教育の略語である「德育」は改革開放期以降に用いられたものであるが、その中核にあるのが共産党の政治的イデオロギーの教育である。現在中国の学校教育における德育は、社会の発展、規律についての知識と社会主義の規範を把握させ、革命の理想と共産主義の思想品德を身につける教育であると説明さ

れており、德育の政治性をはっきりと打ち出している。

共産党にとっては、「五倫（父子の親、君臣の義、夫婦の別、長幼の序、朋友の信）」という道德的規範を尊ぶ儒教の教義はタブーである。また中国では、共産党のイデオロギーに基づき、無神論、あるいは宗教の否定が公の政策となった。「宗教への弾圧は1950年代に始まったが、文化大革命の時期に頂点に達した」[アドラー 2005：196]。

長く人々の信仰対象であった孔子(儒教)、釈迦(仏教)、老子(道教)の思想や教えは三教と呼ばれ、中国人の道德観や価値観の形成に多大な影響を及ぼしてきたが、文化大革命の時期、中国大陆における道德教育は共産主義などの政治思想、および「共産主義道德」により、三教の教えは完全に否定されていた状態であった。「民間信仰は、公的には〈迷信〉という範疇に入れられ、国の支援を受けていなかった」[アドラー 2005：196]。しかし、1976年毛沢東の死後、より実務的な鄧小平が政権を握るようになると、市場資本主義が導入されるようになり、ある程度自由な時代になった。

その後、「宗教に対する制限はゆるめられ、1980年以降多くの寺院が再建された。中華人民共和国の憲法は、共産主義から〈転向〉しない限り、信仰の自由を保障している」[アドラー 2005：197]。現在中国で公認された宗教は、仏教、道教、イスラーム、プロテスタント、カトリックの5つである。儒教は宗教とはみなされていないが、やはり部分的に復権しつつある。[アドラー 2005：196]。実際に調査先の仙游県私立小学校の4年生担当の先生に聞いてみると、道德授業の教育方法は相変わらず「教え込み」だという。また先生は「児童の学業がたいへんだから、1学期1回ぐらい〈私は美德の達人〉みたいな実践しか行わない。ほかの時間はほとんど教室で授業をする。たまに、德育の授業の時間を数学

などほかの科目の先生に使ってもらうこともある」と語っていた。

「私は美德の達人」という実践の活動の内容も、学生たちが書いた「雷鋒<sup>7</sup>に学べ」をテーマにした作文のスピーチや、祖国を賞賛する歌などのコンクールで、なによりも政治的イデオロギーを重視しているものであった。

以上でみてきたように、改革開放以降、学校教育における道德教育は、その教科は時代によってさまざまに変わっているが、その中身は変わっておらず「政治的イデオロギー」やナショナリズムが中核を成していることは明らかである。改革開放期以降は、宗教などに対する共産党の締め付けが緩やかになり、道德教育においても三教の教えが取り入れられているという変化もみられるが、そうした変化が今後どのように更なる展開を見せるかは未知数といえよう。

## 2) 家庭教育における連続と変化

本節ではこれまでの考察をもとに、家庭教育における連続と変化を中心に述べたい。

### a 家庭教育の再評価

子どもの人格形成にとって家庭教育はもっとも重要なものであるが、文化大革命の時代には家庭における教育を社会全体が否定しており、家庭教育の役割はほかの時代に比べ極めて不十分であった。伝統社会で重要視されてきた家庭教育が、近年ようやく見直されるようになってきた。

習近平政権になってから、家庭教育の重要性が度々強調されている。2015年10月16日、中華人民共和国教育部による「家庭教育を強化することについての指導意見」（教育部関与加強家庭教育工作的指導意見）が公布された。そこには、「現在中国の家庭における教育は、〈重智軽徳〉（知識・学歴の教育を重視し、道德を軽視する）、溺愛しすぎ、要求しすぎなどの問題が起きているために、この文を発表する」

「〔家庭教育を強化することについての指導意見〕」と書かれている。

また、2016年9月22日の『人民網』<sup>8</sup>の「中華<sup>9</sup>の優秀な伝統文化を発揚することについての基本的な指導」（広揚中華優秀傳統文化的根本指導）という記事に、習近平の「中華文化に関する重要なスピーチ」が記載されている。その記事には、「習近平は、中華の優秀な文化は中華民族にとって非常に大事であると強調した。中華の伝統文化があるからこそ中華民族が発展し、拡大し、復興することができると指摘した。そのため、中華の優秀な伝統文化を発揚すべきだと強調した」〔中華の優秀な伝統文化を発揚することについての基本的な指導〕とある。また習近平は「〈中国夢〉<sup>10</sup>の中で重要なものの一つは中華の優秀な伝統文化を復興することである」〔中華の優秀な伝統文化を発揚することについての基本的な指導〕と述べている。さらに、習近平は2016年12月23日に北京で行われた「第一回全国良い（文明的な）家庭の表彰大会」に出席し、「家庭教育に最も重要なのは品德教育、人間になるための教育である」と演説を行った。「中華民族は一貫して家庭を重視している。〈尊老愛幼、妻賢夫安、母慈子孝〉など中華民族の伝統家庭の美德は中国人の心に刻まれている。つまり、家庭は中華民族を支える非常に重要な存在である。そのため、中華民族の伝統家庭の美德をもって、子どものしつけをすることが何より大事なことである」〔全国城郷社区数字化学習協作連盟〕とも語った。習近平時代になって中国共産党政権は、学校教育で教える前述の「共産主義道德」と、家庭教育で担う「人間になるための道德」の二本立ての「道德教育」を考えているようである。

今回のアンケート調査からも、中国東南部の人々は子どもを他人にあいさつさせたり、他人のものを拾ったら届けさせるなど家庭での教育を大事にしていることが分かった。また、中国の伝統的な道德観であ

る「善良」「誠実さ」「礼儀正しさ」「親孝行」などがより重視されていることが明らかになった。

中国共産党政府が家庭教育の重要性を強調し始めた背景には、急速な経済発展による社会のひずみや人々の価値観の変化、文革時の家庭崩壊という事態への反省があるであろう。

#### b 家庭教育の内容における連続と変化

今回のアンケート調査の結果からは、歴史の流れの中で形成されてきた儒教や仏教、道教など伝統的な道德観が今なおこの地域では残っていることが明らかになった。道德規範と人々の実践とは必ずしも同じではないが、なぜ人々はこうした道德観を維持できているのだろうか。それには、2つの背景が考えられよう。まずひとつは、もともこの地域は宗教的な教えの伝統が強く残っていることである<sup>11</sup>。もうひとつは、今回のアンケート調査の回答者の9割以上が3、40歳代ということである。彼らは改革開放時代に生まれ、あるいは小・中学または高校に通った世代である。伝統的な道德観が学校教育において見直され始めており、彼らが受けたそうした教育が、後の彼らのしつけ観にも影響を与えていると思われる。

質問紙の回答結果を見る限り、伝統的な道德で重視されていた「忍（忍耐力）」は、現在の家庭教育においてはあまり重視されていない。「忍耐力」を重視する保護者はわずか13.6%しかおらず、儒教の思想の中で同じく重要な「誠実さ」(76.5%)、「善良さ」(64.2%)、「礼義正しさ」(61.7%)、「親孝行」(51.9%)などの項目より明らかに低い。その原因は、豊かな時代になり、一人っ子である子どもにあまり物欲を我慢させず、身体的苦勞もさせたくないと思っている保護者が多いからである。特に、高齢者は子供に厳しいトレーニングや家事の手伝いをさせず、子供の仕事は勉強であると考えてい

るようである。

もう一つ重視されなくなったものに「約束・ルールを守る」がある。アンケート調査の結果では「約束・ルールを守る」を重視する保護者は21.0%しかおらず、かなり低い。中国語の「誠実さ」には「約束を守る」という意味も含まれているので、アンケートで「誠実さ」を重視する比率が高いということは、「約束を守る」も重視されていると思われる。それにもかかわらず「ルールを守る」を重視する人が少ないのはなぜだろうか。

現在中国人の多くが国内や海外の旅行先などであまりマナーやルールを守らないとたびたび指摘を受けていることから、実際に守らない人がたくさん存在するのは事実であろう。その原因は二つあると考える。まず、国全体に「ルール」が行き渡っていないことである。例えば、「環境汚染の恐れがあるから、使い切った乾電池はほかのゴミと一緒に捨ててはいけない」という常識は誰もが知っている。しかし、ゴミ分別のシステムが備わっていないため、どこに捨てるべきかいまだに教わっていない。結局ほかのゴミと同じところに捨ててしまうのである。

しかし、人との約束、公衆道德、迷惑行為などについて中国でも小学校から、さまざまな規律について学んだり、実践も行っている。しかし、なかなかルールやマナーが守られないのは、さまざまな規律やルールが国家主導で行われており、市民自らが社会の一員として、血縁・地縁関係にない他者との共存のためにどう規律やマナーを守ればいいのかについて考える状況に置かれてこなかったからである。今回のアンケート調査で「約束・ルールを守る」ことがしつけの優先順位ではかなり低かったのにはこうした背景もあると考えられる。

もう一つの原因は「ルール」に対する考え方にある。中国人にとっての「ルール」とは、世の中をうまく渡るために守らなけ

ればならない「共産党のルール」のことだと思っているからではないかと思われる。聞き取り調査に応じてくれた方々は、文革時の体験について、進学など目の前の人生のために、権力側に対して頭を下げるしかなかったと話している。また、紅小兵や農民運動などに参加し、他人を厳しく批判したり、個人や社会の財産などを破壊した経験もあり、当時、共産主義とは相容れないルールに従えば、被害にあうと思われていた。それは文化大革命の時期だけではなく、改革開放になってからも同じ状況が続いている。つまり、「共産党のルール」に従うことが何よりも大事であり、公衆道德・社会規則などのルールを守るとは二の次でよいという考え方が生じるようになり、これが日常化したためである。こうした点を考慮すると、中国人はルールを守るということを実践していないのではなく、最も大事なルールは守ってきたとも言えるのではないだろうか。

## おわりに

中国の道德は儒教、仏教、道教のような宗教の思想や教えをベースにしており、これらは古くから人々の道德観や価値観の形成に大きな影響を与えてきた。そうした背景のもと、建国以来学校教育では「道德教育」が非常に重要な科目となってきた。

中国は20世紀に封建社会から社会主義社会へと変わり、大混乱を招いた文化大革命、さらに70年代後半からの改革開放政策による市場経済の導入など、まさに激動の1世紀を経験してきている。国家の体制やシステムが変わったとき、人々の道德観や価値観、考え方はどのように変化するのだろうか。こうした問題意識をもとに本論文で考察した学校教育および家庭教育における「道德教育」の連続と変化について、つぎのようにまとめることができよう。

①文化大革命期の混乱の中、道德教育は

もはやモラルの教育ではなく、その目標は修正主義に反対し修正主義を防ぐ「反修防修」の共産主義後継者を培うことにあった。

1970年代後半、改革開放政策が実施されてからも道德教育と政治は不可分の関係にあった。小学校における道德教育の内容を改革した結果、道德教育の内容に「政治、思想、道德、法制」という四つが含まれるようになった。また、学生の個性を度外視した教育方法を改善するため、1999年に、学生の実践能力を向上させるための「資質教育」が導入された。しかし、実践活動によって学生に調査、体験、思考、探求、発表、製作、収集、討論の8つの面での能力を育成させることを目指しているが、現場では道德授業の教育方法は「教え込み（注入式）」の域を出ていない。中学校と高等学校の道德教育は、政治思想およびナショナリズムを重視するとともに、伝統的価値観への回帰の傾向が見られ、文化大革命期に否定された儒教的価値観が改革開放の時代になって道德教育のなかで若干取り込まれるような変化もみられるのである。

②古くから中国社会では家庭教育が子どもの成長にとって非常に重要だと思われてきたが、文化大革命期になると家庭での教育は軽視された。改革開放期になり、家庭教育の重要性が再び強調されるようになった。一人っ子率の高い都市部では子どもに対する親の高学歴志向が高まり、子どもを大事にすることで、逆に子どもの依存心が強くなる一方、忍耐力がないと言われるようになった。しかし、今回のアンケート調査の結果によると、家庭内での教育では伝統的な道德観である「善良さ」「誠実さ」「礼儀正しさ」「親孝行」なども重視されている。特に、習近平の時代になって伝統文化に基づいた家庭教育の大切さが強調されている。

家庭教育で重視される伝統的な道德観は何千年もの歴史の流れの中で形成されてきたもので、今回調査対象とした中国東南部はもともと宗教的な教えの伝統が根付い

ているところで、儒教思想、道教の「真」、仏教の「善」の思想の影響を強く受けている。また、今回のアンケート調査の回答者の9割以上が3、40歳代で、彼らは改革開放時代に生まれ、当時小・中学または高校に通った世代である。伝統的な価値観が見直され始めた時代に教育を受けていたことが、彼らのしつけ観にも影響を与えていると考えられる。

今回の調査でしつけの際に子どもの「忍耐力」「約束・ルールを守る」が軽んじられていることがわかった。それは豊かな時代になり、「一人っ子」である子どもにあまり物欲の面や身体的面ではあまり我慢させなくなったからである。

③中華民国時代以降、学校教育における道德教育の中身はナショナリズムや「政治的イデオロギー」が中核を成している。改革開放期以降は、宗教などに対する共産党の締め付けが緩やかになり、道德教育においても儒教・仏教・道教の三教の教えが取り入れられるという変化もみられるが、そうした変化が今後どのような展開を見せるかは未知数といえよう。特に、習近平は何度も中華民族の伝統文化の重要性を強調しているが、彼の言う「優秀な伝統文化」が具体的にどういったことを指しているかが明白でなく、家庭教育と政治思想との関連などと合わせて、今後検討する必要があると考える。

### 参考資料1 アンケート原文

Q1 您的年龄是多少？（请直接填写）

Q2 您的职业是什么？（请直接填写）

Q3 您的文化程度（请用“√”从下列选项中选答）

- 1、硕士研究生及以上 2、本科
- 3、大专 4、高中或中专
- 5、初中 6、小学

Q4 您与孩子的关系是？（请用“√”从

下列选项中选答或直接填写）

- 1、父亲 2、母亲 3、爷爷（或外公）
- 4、奶奶（或外婆） 5、叔叔阿姨
- 6、其他 \_\_\_\_\_

Q5 孩子还有兄弟姐妹吗？

- 1、有 2、没有
- 3、有表的或者堂兄弟姐妹

Q6 您教育孩子时最重视哪些方面？请选择5点（请用“√”从下列选项中选答）

- 1、学习成绩 2、诚实 3、个性
- 4、听话、顺从 5、忍耐力
- 6、想象力 7、勤奋 8、温柔体贴
- 9、积极性 10、协调能力
- 11、有礼貌 12、社交能力
- 13、孝敬父母 14、遵守约定 / 规则
- 15、善良有爱心

Q7 您的孩子对您讲他的任何心理活动或者隐私吗？

- 1、从来不 2、有时会说
- 3、我问他，他才说。

Q8 孩子买铅笔盒用了10元钱，却对您说花了20元，从而获得了10元零花钱。您的孩子有做过类似的事情吗？

- 1、很经常 2、有时候 3、从来没有

Q9 假如你的孩子在回家的路上捡到一个钱包，里面装有一些现金和证件，你会希望孩子怎么处置它呢？

- 1、捡起来交公 2、不捡
- 3、捡起来，有人找就还，没人找就留着
- 4、捡起来，交给大人处理

Q10 假如您的孩子遇到不会的作业，抄标准答案。您会怎么做？

- 1、制止他 2、反正老师会教，不管他
- 3、跟孩子一起解题

Q11 假如您的孩子与您玩闹时打您的头，您会怎么做？

- 1、稍微说一下就好
- 2、严厉告诫他这样很疼，不能这样
- 3、不会说他
- 4、打回去，让他知道多疼以后就不会犯了

Q12 假如您的孩子用石头扔一只流浪狗，

- 您会怎么做？
- 1、制止他并告诉他不可以欺负小动物
  - 2、流浪狗很危险，所以扔石头驱赶也没关系
  - 3、带孩子离开现场
- Q13 您在做家务的时候，孩子帮忙吗？
- 1、总是主动帮忙
  - 2、看到我在做家务的时候会帮忙
  - 3、叫他帮忙时会帮忙
  - 4、小孩子的工作是学习，所以不用帮忙
- Q14 您看到孩子写作业的时候在涂画，他说是帮同学，这时您会怎么做？
- 1、如果自己的事都完成了就没关系
  - 2、这说明他乐于助人，所以不会制止
  - 3、制止他，并告诉他别人的事应该别人自己做
- Q15 孩子的好朋友感冒了，没有去上学，您会带他去探病吗？
- 1、会
  - 2、不会
  - 3、不一定，看情况
- Q16 您对孩子提出的要求，您也会严格遵守吗？
- 1、一定会
  - 2、有时会
  - 3、不会
- Q17 如果您与孩子一起时做错事了，您会主动承认吗？
- 1、一定会
  - 2、有时会
  - 3、不会
- Q18 您能否经常原谅孩子的过错，以后再也不提吗？
- 1、是的，会原谅
  - 2、教训他
  - 3、那要看孩子是不是什么错
- Q19 假如您的孩子在动车或者其他公共场所吵闹，您会怎么做？
- 1、会警告他
  - 2、不会警告
  - 3、看情况
- Q20 假如您的孩子在街上看到喜欢的东西要您买给他，您会买吗？
- 1、总是给他买
  - 2、不会买
  - 3、看情况
- Q21 您有每天或定期坚持让孩子做体能锻炼吗？（例如长跑）
- 1、有
  - 2、没有
- Q22 假如您的孩子写了半小时作业后累了，您会让他休息吗？
- 1、不会，希望他写完
  - 2、会，累了休息一下也无妨
  - 3、看情况
- Q23 您的孩子小的时候（3、4岁）一起出去玩，孩子累了，您会抱着他走吗？
- 1、会，累了就要休息
  - 2、有时候会抱着走
  - 3、不会，要让他自己走
- Q24 您的孩子会主动跟亲戚熟人打招呼吗？
- 1、会
  - 2、让他打招呼他才会
  - 3、不会
- Q25 您的孩子收到礼物时会说谢谢吗？
- 1、会
  - 2、有时候会
  - 3、让他说的时候才会说
  - 4、不会
- Q26 你们家有自己的用餐礼仪吗？（例如坐姿，吃饭时要手扶着碗等等）
- 1、有很多
  - 2、有一些
  - 3、没有特别规定
- （请举例\_\_\_\_\_）
- Q27 每当家里来了客人，您的孩子会招待他们吗？
- 1、会
  - 2、有时候会
  - 3、基本不会
- Q28 出去玩的时候会交代孩子不要随地扔垃圾吗？
- 1、一定会
  - 2、有时候会
  - 3、不会
- Q29 您会经常阅读给孩子听，或者给孩子讲故事吗？
- 1、一定会
  - 2、有时候会
  - 3、不会
- Q30 您认为除了数学语文之外，其他课也很重要吗？（例如音乐，美术）
- 1、是的，很重要
  - 2、不重要
  - 3、不知道
- Q31 您认为对孩子来说传统经典重要吗？（例如《三字经》，《弟子规》）
- 1、是的，要多读
  - 2、不重要
  - 3、不知道
- Q32 您会让孩子听音乐，看课外书等参与培养、兴趣提高能力有关的活动？
- 1、会
  - 2、不会
  - 3、不一定，看情况
- Q33 您对孩子考试成绩的态度是？
- 1、考好成绩比什么都重要

- 2、只要成绩不是特别坏就好
- 3、虽然成绩很重要，但是其他方面也很重要（如音乐美术等）

Q34 您是否安排过孩子参加校外补习班、才艺班？

- 1、是，安排过 2、没有安排过
- 3、如果孩子愿意，会安排

## 参考資料2 アンケート日本語訳

Q 1 あなたの年齢を教えてください。

Q 2 あなたの職業を教えてください。

Q 3 あなたの学歴を教えてください。

- ①大学院以上 ②大学 ③短期大学
- ④高校や専門学校 ⑤中学校
- ⑥小学校

Q 4 子供からみたあなたの続柄を教えてください。

- ①父 ②母 ③祖父 ④祖母
- ⑤オジ・オバ ⑥その他 \_\_\_\_\_

Q 5 子供に兄弟姉妹はいますか

- ①いる ②いない ③いところがいる

Q 6 あなたは子供を教育する時に重視する点を5つ選んでください。

- ①勉強・成績 ②誠実さ ③個性
- ④従順さ ⑤忍耐力 ⑥想像力
- ⑦勤勉 ⑧優しさ ⑨積極性
- ⑩協調性 ⑪礼儀正しさ ⑫社交性
- ⑬親孝行 ⑭約束・ルールを守る
- ⑮善良

Q 7 あなたの子供は本音を話してくれますか。

- ①話さない ②時々話す
- ③きくと話してくれる

Q 8 10元しか必要がないのに、子供が20元必要だというようなことはありますか。

- ①よくある ②時々ある ③ない

Q 9 現金や身分証が入った財布が道に落ちているのをみつけたとき、子供がどのような行動をしてほしいですか。

- ①拾って警察に届ける ②無視する

- ③拾って、探しに来る人がいれば返す。
- ④拾って、親に渡して、親が処理する

Q10 子供が難しい宿題の答えを先にみてしまった場合、あなたはどのように対応しますか。

- ①注意して止める
- ②先生がその宿題を説明してくれるから、そのままにしておく
- ③子供と一緒に考える。

Q11 子供と一緒に遊んでいるときにふざけて子供が殴ってきたら、あなたはどのようにしますか。

- ①子供に少し注意をする
- ②怒って強く注意する ③注意しない
- ④軽く殴り返す

Q12 もし子供が野良犬に石を投げたらどうしますか。

- ①弱いものいじめをするなど注意してやめさせる
- ②犬は危険なので安全のために石を投げても注意しない
- ③怖いので子供と一緒に早くその場を離れる

Q13 子供が家事を手伝ってくれますか。

- ①何も言わなくても手伝ってくれる
- ②家事をしている姿を見た時に手伝ってくれる
- ③手伝ってと言えば手伝ってくれる
- ④子供の仕事は勉強なので、手伝わなくてもいい

Q14 自分の宿題をせずに、友たちが絵を書くのを手伝うと子供がいったときに、あなたはどのように思いますか。

- ①自分の宿題を終わらせてからなら手伝っても構わない
- ②他の人を助けるためなら、手伝ってもいい
- ③自分の宿題は自分ですべきである。

Q15 子供と仲のよい友達がカゼを引いて学校を休んだとき、あなたは子供と一緒にお見舞いに行きますか。

- ①行く ②行かない ③状況による
- Q16 あなたは子供と一緒につくったルールを守りますか。
- ①必ず守る ②時々守る ③守らない
- Q17 あなたが子供に悪いことをしてしまった時、子供に謝りますか。
- ①必ず謝る ②時々謝る ③謝らない
- Q18 あなたは子供が過ちを起こしたとき、どのように対応しますか。
- ①許す ②叱る
- ③状況によって許すこともある
- Q19 電車の中で自分の子供が騒いだら、あなたはどのように対応しますか。
- ①注意する ②注意しない
- ③状況によって注意することもある
- Q20 子供がものを買ってほしいとねだる時に、あなたはどのように対応しますか。
- ①買ってあげる ②買ってあげない
- ③ものや状況によって買ってあげる
- Q21 あなたは子供の体を鍛えるためになにかの訓練をさせたことがありますか。(たとえばランニングなど)
- ①ある ②ない
- Q22 あなたの子供が30分宿題をして疲れたと言ったら、休憩させますか。
- ①全部終わってから休憩させる
- ②必ず休憩させる ③状況による
- Q23 子供が小さい頃(3、4歳)あなたは抱っこをしていましたか。
- ①抱っこをした ②時々抱っこをした
- ③ほとんど抱っこをしなかった
- Q24 あなたの子供は近所の人にあいさつをしますか。
- ①する ②言われたらする
- ③ほとんどしない
- Q25 人からプレゼントをもらったときにあなたの子供はお礼をいいますか。
- ①言う ②時々言う
- ③親に促されると言う
- ④ほとんど言わない
- Q26 あなたの家には食事に関連するルー

ルがありますか。(たとえば、お箸の使い方など)

- ①たくさんある ②いくつかある
- ③特にない
- Q27 家に来客があった時、あなたの子供は接客を手伝ってくれますか。
- ①必ずする ②時々する
- ③ほとんどしない
- Q28 家の外でもゴミをゴミ箱に捨てるよう、子供にいますか。
- ①必ず言う ②時々言う
- ③ほとんど言わない
- Q29 あなたは子供に絵本や物語を読み聞かせていますか。
- ①必ず読み聞かせる
- ②時々読み聞かせる
- ③読み聞かせない
- Q30 あなたは数学や国語以外の授業も大事だと思いますか。
- ①思う ②思わない ③わからない
- Q31 あなたは子供が古典を学ぶことが大事だと思いますか。(たとえば、『三字経』『唐詩』など)
- ①思う ②思わない ③わからない
- Q32 あなたは子供に音楽を聞かせたり教科書以外の本を読ませるなど、子供の可能性を広げるようなことをしていますか。
- ①している ②していない
- ③時々する
- Q33 あなたは子供の成績についてどのように考えていますか。
- ①よい成績をとるのが何より重要である
- ②成績が極端に悪くなければよい
- ③成績も重要だが、他の活動をすることも必要である
- Q34 あなたは子供を塾に通わせたり、習い事をさせたりしていますか。
- ①通わせている ②通わせていない
- ③今は通わせていないが、子供が望めば通わせたい

## 注

- 1 改革開放とは、鄧小平の指導体制下で、1978年12月に開催された「中国共産党第11期中央委員会第3回全体会議」において提出され、その後開始された中国国内体制の改革および対外開放政策のことである。毛沢東時代の大躍進政策と文化大革命で疲弊した経済を立て直すため、現実派の鄧小平は「四つの近代化」を掲げ、市場経済体制への移行を試みた。基本原則は先富論に代表されるように、先に豊かになれる条件を整えたところから豊かになり、その影響で他が豊かになればよいという考え方である〔滕 2016: 170〕。
- 2 学校教育において道德教育を「德育」と呼んでいる。
- 3 中国では中学校と高校をまとめて中学と呼ぶ。
- 4 もっとも大きな影響を与えたのが儒教、仏教、道教の三つの思想体系である。
- 5 「仙遊県」は筆者の出身地である。アンケートの数としては十分ではないが、この種のアンケートを行うこと自体が難しい中、調査に協力していただいた方々に感謝したい。
- 6 子供の「親孝行」を重視すると回答した者が多かったのは、社会保障制度への不安を反映しているのかもしれない。年金格差問題は医療・教育と同様に中国社会の二極化を促進する要因となりうる。「未富先老」の不安にどう応えるかが政府の重い課題になっている。
- 7 中国人民解放軍の兵士。貧農の出身で父母を日本軍と地主に殺され、兄弟も貧困のため死亡。7歳で孤児となり、解放後学校へ行き、卒業後トラクタ運転手となった。のち解放軍に入り災害救助活動の際、自動車整備中の事故で殉職した〔「雷鋒」〕。
- 8 中国共産党中央委員会の機関紙『人民日報』で知られる中華人民共和国のメディア、人民日報社が1998年12月1日に開設したニュースサイトである〔「人民網」〕。

- 9 「中華」の表記は原文のママ。以下の「中華文化」「中華民族」も原文のママ。
- 10 2012年に習近平・中国最高指導者（2012年11月より中国共産党総書記）が発表した思想。「中華民族の偉大なる復興」を掲げ、中国共産党第十八次全国代表大会より中国共産党の統治理念となった〔「中国の夢」〕。
- 11 媽祖信仰が根強い地域で道教系の民間信仰が人々の道德観の形成に大きな影響を与えている。

## 参考文献

## 日本語文献

アドラー、A・ジョセフ

- 2005 『中国の宗教〈21世紀をひらく世界の宗教〉シリーズ』伊吹敦 尾形幸子訳 春秋社

トーマス&ドロシー

- 1994 『儒教』〈シリーズ 世界の宗教〉鈴木博訳 青土社

倪冬岩

- 2007 「中国における道德教育の動態」『現代社会文化研究』38 (39)、115 - 132

聶莉莉

- 1994 「中国農民社会における儒教の影響の実態—東北地方の実地調査に基づいて—」『国立民族学博物館研究報告』19 (1)、61-94

聶莉莉

- 1998 「閩南農村における神々信仰—福建省晋江市農村での実地調査に基づいて—」『国立民族学博物館研究報告』22 (3)、585-659

一見真理子

- 1993 「中国における子ども、子ども観、子どもの権利：シンポジウム「世界における子ども文化の位置づけ」」『比較教育学研究』1993 (19)、171-177

矢吹 晋

- 1989 『文化大革命』講談社現代新書

滕鑑

- 2016 「中国の改革開放後における市場移行政策の展開」『岡山大学経済学会雑誌』48 (2)、2016、39 - 54

湯山トミ子

- 2016 「近代中国における子ども観の社会史的考察 (4) 戦火のなかの子ども観: 救済と組織化」『成蹊法学』(小林登教授・湯山トミ子教授記念号) 成蹊大学法学会 (82)、1 - 28

中国語文献

孫少平

- 1999 「建国以来我国中小学德育の歴史回顧及啓示」『河北師範大学学报』(教育科学版) 1(4)、14-20

檀伝宝

- 2000 『学校道德教育原理』教育科学出版社

劉頴

- 2015 『中国伝統家訓与現代家庭青少年道德人格培養』上海人民出版社

劉福鏞

- 2014 『莆田史話』社会科学文献

做人的教育 (習近平: 家庭教育に最も重要なのは品德教育、人間になるための教育である)」

<http://xzlm.caea.org.cn/a/jiaoyupeixun/>  
(2017年1月7日)

中華人民共和国教育部「教育部関与加強家庭教育工作的指導意見 (教育部が家庭教育を強めることについての指導意見)」

[http://www.moe.edu.cn/srcsite/A06/s7053/201510/t20151020\\_214366.html](http://www.moe.edu.cn/srcsite/A06/s7053/201510/t20151020_214366.html)

(2017年1月7日)

中華人民共和国国家統計局「全国分年齢、性別、受教育程度の6歳以上人口 (全国分年齢、性別、受教育程度の6歳以上人口)」

<http://www.stats.gov.cn/tjsj/pcsj/rkpc/6rp/indexch.htm>

(2017年1月4日)

## 参考 URL (年月日は最終閲覧日)

人民網「人民網」

<http://www.people.com.cn/>  
(2017年1月6日)

人民網「広揚中華優秀傳統文化的根本指導 (中華優秀傳統文化を發揚するについての根本指導)」

<http://opinion.people.com.cn/n1/2016/0922/c1003-28731316.html>  
(2017年1月7日)

人民網「中国夢 (中国の夢)」

<http://www.people.com.cn/>  
(2017年1月6日)

全国城郷社区数字化學習協作連盟「習近平: 家庭教育最重要的是品德教育、是如何